

日本精神障害者リハビリテーション学会 第31回東京お台場大会のご案内

大会テーマ：多様性と調和—台場シティで調(ととの)う

大会長あいさつ 第31回大会大会長 肥田裕久

この度、東京お台場において、日本精神障害者リハビリテーション学会第31回東京お台場大会を12月14日(土)15日(日)の2日間、東京有明医療大学にて開催することとなりました。

日本精神障害者リハビリテーション学会は、「精神障害のある人々がすべて、ふつうの市民として、地域社会の中であたりまえに暮らしていくことができるようになる、そのために必要な活動を展開すること」をミッションとして、精神科医、ソーシャルワーカー、心理専門職、看護師、作業療法士などの多職種、そして当事者と家族も参加する学際的な学会です。入院医療中心から地域生活支援中心へと精神保健施策の転換が打ち出され、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、精神科医療機関や他の医療機関、地域援助事業者、市町村などとの重層的な連携による「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が現在進められていますが、本学会のミッションはまさにその流れに沿うもので、担う役割はますます大きくなっているものと思われま

さて、第31回東京お台場大会のテーマは、「多様性と調和—台場シティで調う」です。多様性の議論が活発となり、さまざまな価値観が同等に扱われる機運があります。これを精神保健医療福祉の文脈で捉えなおすと、障害があってもなくても一個人として、社会や地域で、生活したり活躍したりということをもう一度考え直すことになるでしょうか。

そしてもうひとつテーマを織り込んでいます。多様性の実現のためには日々の業務を見直す必要があります。その見直しを「調(ととの)う」と表現してみました。東京お台場の地で、研究や実践で培った知恵や技法を集め、それぞれの現場に持ちかえていただくことで、今後の精神科リハビリテーションの糧としていただければ幸いです。

大会という場に、たくさん集まり、多くを語り、いっぱいのお土産を持って帰ることができるように、主催者一同、鋭意プログラム等を検討中です。皆様方と東京お台場にてお目にかかれることを、心から楽しみにしております。

会場：東京有明医療大学（〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号）

大会長：肥田裕久（医療法人社団宙麦会ひだクリニック理事長／院長）

副大会長：角田 秋（東京有明医療大学看護学部看護学科教授）

佐々 毅（医療法人社団宙麦会ひだクリニックお台場院長）

実行委員長：中田健士（株式会社MARS代表取締役）

大会事務局：株式会社MARS（担当：向谷地・角田）

〒270-0163 千葉県流山市南流山1-14-7-204\_\_E-mail：japr31tokyo.odaiba@gmail.com

運営事務局：共立速記印刷株式会社（担当：五十嵐・中澤）

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24\_\_TEL:03-3234-5511／FAX:03-3263-2740

演題・参加登録など大会の最新情報はウェブサイトから

<https://www.ksi21.com/japr31/index.html>